

(別紙4(2))

事業所名:グループホーム武蔵ヶ丘

目標達成計画

作成日 : 令和 7 年 7 月 1 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35 (13)	災害時に対して、決められた定期点検・訓練・備蓄等を行っているものの、職員間の連携・ご家族との連携・地域との連携がきちんと整理されていないのが課題である。	①職員間のグループLINEの構築 ②ご家族とのグループLINEの構築 ③地域との連携(運営推進会議にて協力依頼)	①専用携帯を導入し殆どの職員と開通 ②ご家族へ書面にてLINE登録の依頼をする ③現在回覧板や電話連絡にて連携中、今後施設の防災訓練にご参加を呼びかけたい	1ヶ月 3ヶ月 6ヶ月
2	6 (5)	身体拘束をしないケアの実施 「介護指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しているか、又、身体拘束廃止・防止の対象となる具体的な行為(例)11項目及びその他の拘束を理解し実践しているかが課題である。職員によりバラツキをなくす。	①身体拘束適正化の研修(年2回) ②身体拘束適正化委員会(年2回) ③職員同士のその場での声かけ(適宜)	①e-ラーニングを使用しての開催 ②委員長を中心に委員会メンバーにて開催～他職員へ水平開催 ※内1回は運営推進会議にて開催 ③「身体拘束0」を掲げ、職員間の意識を高める。	R7年度
3	40 (15)	食事を楽しめる事の支援 「食の安心・安全・確実な供給」	①安全→冷蔵庫内管理 ②安心→確実な供給 ③研修→食中毒研修	①2名にて冷蔵庫や食材庫の管理～整理 ※期限切れ確認 ②お米の定期供給→知り合いの農家と1年契約(済) ③食材・野菜業者との提携→提携済	R7年度
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。